

H.C.R.2022 閉幕

約9万人来場 3年ぶり通常規模開催

10月5～7日に開催された「第49回国際福祉機器展 H.C.R.2022」は、3年ぶりに東京ビッグサイト東ホール全面を使ったコロナ前規模でのリアル開催となった。会期中は雨天だったにもかかわらず、8万8521人が来場（事務局速報値）。感染対策は入念にされていたものの、コロナ禍前に戻ったような熱気の中、最新の福祉機器を実際に見て、触って、試すことができた3日間に多くの人が満足したようだ。「やはり対面で話ができるのは楽しいですし、理解も深まります」（来場者の声）。本紙が総力上げて取材した製品の中から選りすぐりを紹介する。Web展は11月7日まで開催中。

パッチョ登場！！
(東京ガス)



多くの来場者



電動車いす JUU 乗降アシスト機能で安全。凹凸道路や階段やスロープも昇降。スマホでの操作も可能。参考出品（トヨタ自動車）

Tellus You Care
テラス



カメラ使わず尊厳保持

「テラス」は身体への安全性を確保したレーザー波技術を用いたセンサーで、人の「動き」のみを検知、プライバシーにとことん配慮する。レーザー波の身体への跳ね返りとA I 技術を組み合わせ、就寝中や転倒、うずくまりなどの活動状況を判断。個別ケアを支援する強い味方になりそう。

<https://tellusyoucare.com>

第一興商
FREEDAM LIFE



職員のレクリエーションの悩み解決

通信カラオケシステム「DKエルダーシステム」が操作性と機能性を向上。ワンタッチで約30分の目的別のレクリエーションプログラムの自動作成や、最大5カ所の施設で遠隔操作でレクリエーションプログラムを共有できるリモートセッション機能を搭載。アプリで共有可能。「おまかせレク」搭載で業務負担を大幅改善。

0120・065・062

ケープ
マイクロクライメイト ネクスアイビー



背上げと寝心地を両立

来春発売予定の体圧分散式エアマットレス。マイクロクライメイト対応で、マットレス内の熱・湿気を排気し快適に保つ。背上げの際に体を支える傾斜型2層式のエアセルと、圧迫とずれを軽減するデュアルフィットセルの組み合わせ。エアセルの端部分は端座をとりやすい形状。さらに液晶画面で背上げ角度や経過時間を表示、設定精度に達すると音声で知らせる機能も追加された。046・821・5511

トヨタ自動車
C+Walk 座り乗りタイプ



移動が楽しくなる電動車いす

デザイン性のあるハンドル型電動車いす。三輪タイプで参考出品。「すべての人に移動の自由を」のコンセプトの小型モビリティ「C+WALK」から電動3輪タイプが参考出品。ハンドルのスイッチで簡単操作で前後左右が移動できる。荷物が多い時の日常移動にも。外出移動が楽しくなる電動車いす。3色のレパートリーで今後発売予定。

<https://toyota.jp/cwalk/>

三菱電機
MelCare



3つの見守りサポートで負担軽減

A I を使ったMelCareセンサーとベッド、人感、ドア・窓の各センサーとで3つの見守りをサポートするクラウドシステム。「転倒」の見守りでは検知すると職員にすぐにアラート発信。「すこやか空気」の見守りで居室の環境が遠隔で確認。熱中症の予防対策やCO₂濃度も検知で窓明けの換気にも。「生活リズム」の見守りで睡眠深度、離床回数、トイレ回数も記録できる。

03・3218・4885



勝手に「シルバー新報賞」！ 介助型車いす「COLORS」

傾斜路も真っすぐに進む 介護事業所と町工場のコラボ6年がかりで

「行きたいところに気兼ねなく行くことができる。車いすが生活の一部になってほしいですね（カラーズ福祉用具事業部・飯沼勉さん）。開発の紆余曲折を見てきた本紙から勝手に「シルバー新報賞」を授与。本体価格オープン。問い合わせは03・5767・5219。

車いすと言えば、福祉用具の代名詞。会場でも様々な車いすメーカーが出展していた。その中で在宅介護サービス運営する企業が開発した異色の車いすに、多くの人が足を止めていた。

介助型車いす「カラーズ」。ぱっと見では普通の車いす。ところが、傾斜のついた道にその車いすを押し行っても、片流れせずに真っすぐに進むのだ。しかも片手で操作しても全く変わらない。実際に操作した人が「え、信じられない！」と思わず声を上げる。そんな光景が会期中何度も見られた。

開発したのは、東京都大田区で訪問介護を中心に高齢者や障害者の在宅支援サービスを運営するカラーズ（田尻久美子代表取締役）と、同じく区内で70年以上続く機械装置などを製作する関鉄工所（関英一代表取締役）、そしてデザイナーといった面々。車いすを苦

「傾斜路でも片流れしない理由は前輪キャスターが進行方向に固定されていること。回転しないから砂利道などでも埋もれたりしない。そして大きな中央の主輪に重心があるため、どんな悪路でもぐんぐん進んでくれる。「魔法のような車いす」と呼んでも過言ではない。

「介護事業所と町工場のコラボ6年がかりで」